

# 松尾鉱山資料館だより

MATSUO MINE MUSEUM



松尾鉱山資料館 TEL 78-2598

## 不況時代を切り抜けて日本一の鉱山へ

### ◆硫黄を巡る市況

硫黄輸出国であった日本は大正9(1920)年、世界恐慌の影響で輸出不振に陥っていました。さらに、アメリカは新しい採掘製錬技術「フラッシュ法」を実用化し、世界の硫黄市場を席卷。日本の硫黄鉱山の経営は、厳しさを増していました。6年に11万8千トンのあった硫黄生産量は、5年後には3万4千トンまで激減し、多くの鉱山が閉山しました。

### ◆自立再建への道

10年に中村房次郎氏が社長を退き、社長空席の中、経営が厳しい状況の下で、松尾鉱業株式会社は自立再建を目指しました。

初めに、会社運営機構や職制などを刷新し、経理事務の近代化を図りました。需要のある硫化鉄鉱の販売にも着手。販路を広げて生産を拡大し、経営の



大正時代の風力自然窯



資料館に残る焼取製錬窯

立て直しを図りました。

また、亜硫酸ガス煙害問題を解決するため、硫黄を直接燃やして溶出する風力自然窯を全廃し、石炭火力の焼取製錬窯に切り替えました。50~60%だった硫黄の実収率は、さらに改良を加えて70~80%まで向上し、新しい生産体制を築きました。

この頃、硫黄を素材とする国内の化学繊維工業や製紙工業が急速に発展しました。松尾鉱業株式会社は供給先が安定し、さらに生産を拡大させました。そして14年には、硫黄生産量約2万トン、従業員約600人を数える日本一の硫黄鉱山となりました。

# 図書館だより

L I B R A R Y



図書館 TEL 75-1700

松尾コミュニティセンター図書室 TEL 76-3235

荒屋コミュニティセンター図書室 TEL 72-2505

### ◆読書マラソンの結果発表

期間中に読んだ冊数を競う読書マラソンは、令和元年7月1日から12月26日にかけて行われました。85人が参加し、貸出総数は前回の5,993冊を上回る6,695冊となり、盛り上がりを見せました。

各部門の優勝者と貸出冊数は、次の通りです。

部門	優勝者・貸出冊数
幼児読み聞かせの部	藤村 <sup>さな</sup> 紗南ちゃん(下町二区)・600冊
児童1・2年の部	西本 <sup>たける</sup> 剛琉君(下町二区)・451冊
児童3・4年の部	中塚 <sup>さよ</sup> 紗良さん(両沼)・460冊
児童5・6年の部	中塚 <sup>さよ</sup> 紗江さん(両沼)・435冊
大人の部	福田 <sup>ひでこ</sup> 秀子さん(柏台三丁目)・202冊

\*読書マラソン結果の詳細は、館内に掲示しています。

### ◆新着ピックアップ

#### 『はじめてのレコード』

著/レコードはじめて委員会、出版社/ DU BOOKS

このところ再注目されているレコード。その買い方、聴き方、お手入れ、さらに楽しむ方法など、初めてレコードを聴く人への基礎知識をやさしく解説した本です。



#### 『CHOCOLATE BAKE』(チョコレート バイク)

著/ムラヨシマサユキ、出版社/主婦と生活社

板チョコで作れる簡単チョコ菓子レシピ。材料を入れたら、ぐるぐる混ぜて、型に入れて焼くだけ!特別な材料や道具は必要なし。焼き菓子作りに挑戦したくなります。

